

令和元年度開催公開講座一覧(全27講座)

講座番号	担当	講分産区	講座名	講座内容	担当講師	開催日	時間	会場	受講料	募集人数	参加人数
01	公開講座委員会	中学・高校生	私たちの生活とSDGs（持続可能な開発目標）	SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。それまでのMDGs（ミレニアム開発目標）との大きな違いは、先進国の役割が大きいことであり、日本では企業憲章にも盛り込まれました。17のゴールは互いに関連し合っており、包括的な取り組みが重要です。「誰一人として取り残さない」社会の実現のために、私たちにできることは何なのかについて、共に考えましょう。	松葉口 玲子（横浜国立大学 教育学部 教授） 江原 由美子（横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授、男女共同参画室副室長） 嶋海 大典（横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授） 松本 真哉（横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授） 窪保 弘徳（横浜国立大学 教育学部 准教授） 大塚 彩美（都市イノベーション研究院・男女共同参画推進センター みはるかず研究員）	2019/7/26（金） 2019/8/9（金） 2019/8/23（金）	16：30～18：30	横浜国立大学 教育文化ホール 大集会室	無料	200	556
02	都市科学部	中学・高校生	都市の自然を楽しむライフスタイル	本学学生のガイドのもとに都市の潮干狩りや山菜採取と調理、野生ナッツ採集と製菓、大学キャンパスの里山管理など、季節のテーマを体験して身近な都市の中に自然があることを知り、日常的に都市の自然を楽しむライフスタイルの開発と普及を行います。また自然のメカニズムと資源管理、関連制度などを勉強します。	小池文人（横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授）	2019/5/19（日）ほか 全4回	9：00～17：00	屋内活動：総合研究棟S112実験室 野外活動：横浜国立大学常盤台キャンパスのほかに市内や都内の公園など	無料	10	5
03	教育学部	高校生	英語における機能語の働き—冠詞と前置詞の場合—	名詞や動詞などの内容語と異なり、冠詞や前置詞などの機能語には語彙的な意味がありません。むしろ、内容語の意味を限定したり、内容語どうしを結びつけたりします。本講座では英語の冠詞と前置詞（by/in/on/with）に注目して、日本語と比較しながらその機能を理解し、英文を正確に理解できるようになることを目標とします。	田中 秀毅（横浜国立大学 教育学部 准教授）	2019/6/29（土）	10：30～12：00	教育学部講義棟7号館202教室	無料	40	17
04	理工学部	高校生	第13回 海洋空間のシステムデザインカップ ひれ推進コンテスト	高校生に海や船・ものづくりの魅力を伝えるために講義とコンテストを実施します。まず7/15(月(海の日))（予定）に船や魚のひれに関する公開講座として講義を実施します。その後、各高校の参加チームにひれ推進模型を製作してもらい、8/24(土)に本学の大型実験水槽にてスピード等を競うコンテストを行います。なお、講義の内容は以下を予定しています。 【（1）船はどんなふうに乗るの？（2）船はどうやって早く走れるの？（3）ひれ推進模型の制御について】	高木 洋平（横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授） 村井 基彦（横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授） 川村 恭己（横浜国立大学 大学院工学研究院 教授） 平川 嘉昭（横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授） 樋口 文浩（横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授） 高山 武彦（横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員）	2019/7/15（月・祝） （予定） 2019/8/24（土）	7/15（月・祝） 13：30～16：30 8/24（土） 9：30～16：00	7/15：メディアホール 8/24：船舶海洋工学棟3階講義室、大型実験水槽	無料	60	137
05	ン機 器分 析評 価セ	高校生	高校生のための分析入門講座「テクノワールド2019」—最先端の分析機器を体験しよう—	大学の研究で用いる最先端の分析機器の操作体験をしてみよう。 実習予定テーマ：原子の世界をみよう(透過電子顕微鏡) ナノテクノロジーを体験しよう(走査型電子顕微鏡、集束イオンビーム加工装置) ダイエットコーラの成分を調べてみよう(質量分析装置) 放射線を見てみよう(イメージアナライザー)	谷村 誠（横浜国立大学 機器分析評価センター 准教授） 石原 晋次（横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員） 田中 陽一郎（横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員） 吉原 直希（横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員）	2019/8/2（金）	10：00～17：00	機器分析評価センター	無料	16	15
06	都市科学部	中学・高校生	都市科学入門—都市科学部4学科の講義を体験する—	都市科学部は2017年にスタートした新学部です。都市科学とは、都市の魅力高め、インフラ・環境・災害・まちづくりなどの課題に文理融合の視点から科学的に取り組むものです。本講座では、各学科（都市社会共生学科、建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科）で何を学ぶのか、その概要と実際の講義に触れてもらいます。	佐土原 聡（横浜国立大学 都市科学部長・教授）ほか	2019/8/5（月）	9：00～15：30	都市科学部講義棟／教育学部講義棟8号館 101教室	無料	100	111
07	環境情報研究院	高校生	土の中の気持ちわるい生き物観察会（夏）	土の中にはダニやダンゴムシ、ムカデ、カニムシ、イボトビムシ、スライムなどの生き物がうじゃうじゃいて、食ったり食われたりしています。これらの生き物を捕まえて、その形や動き、何を食べているかをじっくり観察してみませんか。ペットやアクササリーにしてみませんか。私たちの生活との繋がりを考えてみませんか。	中森 泰三（横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授） 矢野 倫子（環境情報学府 大学院生） 片岡 万穂子（環境情報学府 大学院生）	2019/8/22（木）	10：00～16：00	環境情報3号棟101室	無料	9	10
08	情報基盤センター	高校生	初心者ためのプログラミング体験入門—Processingによるグラフィカルなプログラム作成—	本講座は、高校生を対象としたプログラミング入門講座です。グラフィックやインタラクションに関する簡単なプログラムをProcessingで作成し、その楽しさを体験します。Processingとは、比較的簡単に視覚的な表現が可能なプログラミング言語であり、無償で環境を用意でき、初心者でも学びやすい言語です。	塩野 康徳（横浜国立大学 情報戦略推進機構 講師）	2019/9/7（土）	13：00～17：00	情報基盤センター PC教育室A	無料	30	25
09	教育学部	高校生	外国につながる子どもに教えられる自分が変わったことがないことが教えられるか—	小学校などで日本語が不自由な子どもは急増しており、特に、地元・横浜、神奈川では顕著で、過半数を占める公立小学校もあります。あなたが教師になったとき、その子どもたちにきちんと教えられるでしょうか。自分はどう役に立っているか、そして、どうしたら、さらに役に立っているかについて考えていきます。	河野 俊之（横浜国立大学 教育学部 教授）ほか	2019/9/8（日）	14：00～16：00	教育学部講義棟7号館210教室	無料	10	17

令和元年度開催公開講座一覧(全27講座)

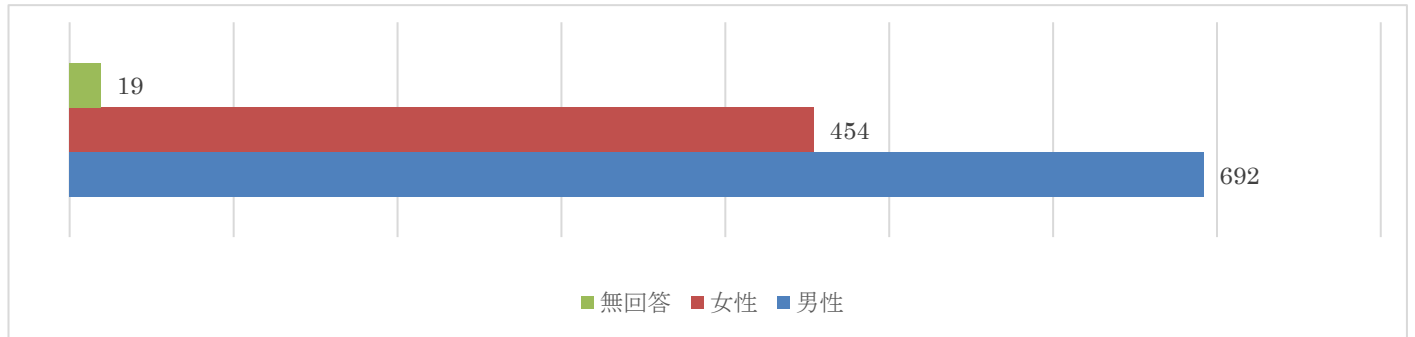
講座番号	担当	講分産区	講座名	講座内容	担当講師	開催日	時間	会場	受講料	募集人数	参加人数
10	進 男 セン 女 共同 参 画推 画推 進	中 学 ・ 高 校 生	YNU理系女子★サイエンス プログラム 2 ～先輩に聞いてみよう！進路と 研究～	理系に進むとどのような研究をしてどのような道が開かれるのか、理系だ からこそできることは何か？本講座では、本学の理系女子大学院生の先輩 などから進路や研究、大学生活についてお話を聞くとともに、学内見学な どを行います。オープンキャンパスとは一味違うYNUの雰囲気や、じっ くり、ゆったり体験してみましよう。	鈴木 紀子 (横浜国立大学 男女共同参画推進センター 准教授) 山中 千尋 (横浜国立大学 男女共同参画推進センター 特任教員 (講 師))	2019/10/19(土)	14:30～17:00	経済学部講義棟2号館111教室	無料	30	26
11	教育 学部	高 校 生	歩いて知ろう鎌倉の歴史と地理	みなさんの身近な場所には、その町の歴史や地理に関わる「痕跡」がたく さんあります。都市の中心部にもたくさんあるのですが、そのほとんどは 見過ごされています。この講座では、古都鎌倉をみなさんと一緒に歩きな がら、そうした「痕跡」を宝探しのように見つけ出し、鎌倉の歴史や地理 について楽しく考えていきたいと思います。	吉田 圭一郎 (横浜国立大学 教育学部 教授) 多和田 雅保 (横浜国立大学 教育学部 教授) 鈴木 允 (横浜国立大学 教育学部 准教授)	2019/11/16 (土)	10:00～17:00	(午前) 屋内講義 (場所は参 加票送付時に通知します) (午後) 鶴岡八幡宮～JR鎌倉 駅～長谷寺周辺 (鎌倉市)	無料	25	25
12	国際 戦略 推進 機構	高 校 生	日本語教育と国際交流 —留学生との対話を通じて—	世界の日本語学習者や日本で学ぶ留学生の数は過去30年の間に大きく増大 しました。世界で日本語を学ぶ人々の素顔や、学習者から見た日本語の魅 力など、日本語教育の現状を紹介します。後半は、YNUで学ぶ留学生を交 え、日本語学習や留学の意義についてグループで話し合う機会を設けま す。	四方田 千恵 (横浜国立大学 国際戦略推進機構 教授) 小川 誉子美 (横浜国立大学 国際戦略推進機構 教授) 金 蘭美 (横浜国立大学 国際戦略推進機構 准教授) 半沢 千絵美 (横浜国立大学 国際戦略推進機構 准教授)	2020/2/15 (土)	13:30～15:30	国際教育センター106教室	無料	20	8
13	都 市 イノ 研 究 ベ シ ョ ン	地 域 社 会 (一 般)	横浜防火帯建築を読み解く	私たちのふるさと横浜は終戦直前に甚大な空襲被害を受け、終戦後も占領 軍によって長期にわたり接収されました。開港の舞台となった港町はこの 二重苦からいかにして復興を遂げたか。全国的にも類をみない建築数多 さと建築タイプの特徴をそなえ、戦後の原風景をつくった「横浜防火帯建 築」を読み解きながら、その謎に迫ります。	藤岡 泰寛 (横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 准教授) 笠井 三義 (有限会社カサイアーキテクチュラルデザイン 代表取締役) 桂 有生 (横浜市都市整備局都市デザイン室 都市デザイナー) 黒田 和司 (有限会社NEU総合計画事務所 代表取締役) 菅 孝能 (株式会社山手総合計画研究所 代表取締役) 中井 邦夫 (神奈川大学 教授) 林 一則 (NPOアーバンデザイン研究体 理事) 松井 陽子 (神奈川県住宅供給公社 職員)	2019/6/12(水) ほか 全5回	18:00～20:00	教育文化ホール 中集会議室	5回2500円 または 各回500円	50	49
14	教育 学部	地 域 社 会 (一 般)	イタリア音楽紀行 —イタリアの民俗楽器の世界—	イタリアは、ピアノやヴァイオリンの名器ストラディヴァリウスを産ん だ、クラシック音楽の楽器の中心地であると同時に、さまざまな民俗楽器 の宝庫でもあります。なかでもイタリアを代表する楽器がバグパイプ (伊 語でザンポーニャ)。ザンポーニャは祭りに不可欠な楽器でしたが、近 年、アコーディオンに取って代わられつつあります。一見まったく異なる バグパイプとアコーディオンの共通点は？ 楽器の分類や盛衰をみなが ら、イタリアの民俗楽器の豊かな世界をご紹介します。	金光真理子 (横浜国立大学 教育学部 准教授)	2019/9/18 (水)	13:30～15:00	横浜国立大学 教育文化ホ ール 大集会議室	無料	200	135
15	教育 学部	地 域 社 会 (一 般)	着物の着装を通じて学ぶきもの 文化	着物の着装を含むワークショップと講義を通して伝統文化であるきもの文 化について学んでもらいます。	藤本 弥生 (横浜国立大学 教育学部 教授)	2019/10/12 (土)	13:00～17:00	教育学部講義棟7号館310、311 室	無料	10	11
16	地 域 連 携 推 進 機 構	地 域 社 会 (一 般)	羽沢横浜国大駅開業を契機とし た地域と大学のさらなる連携強 化	本学の地域連携教育研究活動の概略を紹介し、和町などの駅前地区での 大学連携の経験や、羽沢地域での地域連携研究成果について報告します。 地域と大学の連携について皆さまと考えるパネルディスカッションも予定 しています。	中村 文彦 (横浜国立大学 地域連携推進機構長) ほか	2019/11/24(土)	13:30～15:30	中央図書館メディアホール	無料	100	138
17	教育 学部	地 域 社 会 (一 般)	歩いて見に行こう神奈川の歴史 と地理 (6) 金沢八景	みなさんの身近な場所には、その町の歴史や地理に関わる「痕跡」がたく さんあります。普段は見過ごしているそれらに気がついたり、見つけ出 たりすることは宝探しに似た面白さがあります。この講座では、みなさん と一緒に歩きながら、そうした「痕跡」を探し出し、町の歴史や地理につ いて楽しく考えていきたいと思います。	吉田 圭一郎 (横浜国立大学 教育学部 教授) 多和田 雅保 (横浜国立大学 教育学部 教授) 鈴木 允 (横浜国立大学 教育学部 准教授)	2019/11/2 (土)	10:00～17:00	(午前) 屋内講義 (場所は参 加票送付時に通知します) (午後) 金沢八景駅～金沢文 庫駅周辺 (横浜市)	無料	25	25
18	工 学 研 究 院	現 役 世 代 社 会 人	水道施設維持管理のための腐食 防食基礎講座 ～実習を中心とした体験型講座～	これまで、本学では主に専門技術者に対する実習型講座を開催してきま した。この度、「水道施設維持管理のための腐食防食基礎講座」をテーマに 維持管理に関連した「腐食防食基礎」を若手・事務系、技術系等の初学者 の方々に参加頂ける実習型出前講座として開催します。化学が苦手な方 にもご参加頂けます。	伊藤 大輔 (横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員)	(1)2019/6/27(木)～ 6/28(金) (2)2019/7/25(木) (3)2019/11/11(月)～ 11/12(火)	(1)・(3) 1日目 14:00～17:00 2日目 9:00～12:00 (2) 9:00～17:00	(1) 佐世保市男女共同参画推進 センター「スズカ」 (2) NQCプラザ (新潟県) (3) 仙都會館 会議室	3000円	60 (20人× 3回)	35

令和元年度開催公開講座一覧(全27講座)

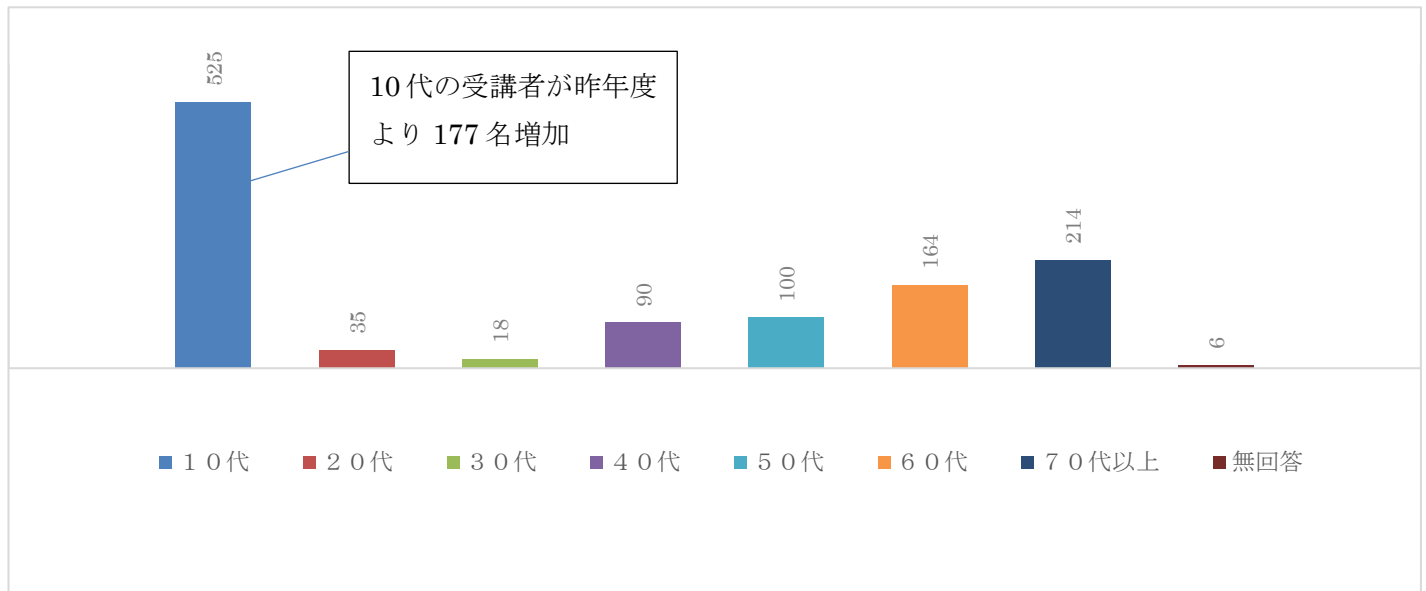
講座番号	担当	講座区分	講座名	講座内容	担当講師	開催日	時間	会場	受講料	募集人数	参加人数
19	工学研究院	現役世代社会人	事務系・非技術系社会人のための 腐食防食基礎講座 ～より理解が深める体験型講座～	これまで、本学では主に専門技術者に対する実習型講座を開催してきました。この度、「事務系・非技術系社会人のための腐食防食基礎講座」をテーマに今後重要となる維持管理に関連した「腐食防食基礎」を初学者の方々に参加頂ける実習型出前講座として開催します。理数系が苦手な方にぜひご参加ください。	伊藤 大輔 (横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員)	(1) 2019/6/28 (金) (2) 2019/7/26 (金) (3) 2019/11/12 (火)	14:00～17:00	(1) 佐世保市男女共同参画推進センター「スビカ」 (2) NOCプラザ (新潟県) (3) 仙都会館 会議室	1500円	60 (20人×3回)	3
20	都市イノベーション研究院	現役世代社会人	モビリティデザインサマースクール	都市交通計画及び交通工学に携わる行政職員やエンジニア、都市交通計画及び交通工学を学ぶ若手研究者や学生を対象に、モビリティ・デザインの演習体験を通して、実践的な考え方を、以下の4部構成で学んでいただきます。 1.モビリティデザインの基礎 2.応用理論 3.事例研究 4.実践演習	中村 文彦 (横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授)	2019/7/13 (土)	10:00～17:00	横浜国立大学 土木工学棟 セミナールーム	2000円	20	13
21	機器分析評価センター	現役世代社会人	バイオテクノロジー実験講座 先端バイオテクノロジーを理解する～遺伝子工学と細胞工学～	本講座は、高校教員や学生、一般の方を対象として、進歩を続けるバイオテクノロジーの理解を深めることを目的としています。遺伝子工学や細胞工学についての基礎を学習し、実際に先端的な機器や培養細胞を使用して実験を行うことで、食品、医療、農業等の様々な分野で応用されている重要な技術を学びます。	栗原 靖之 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 田中 陽一郎 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員)	2019/7/30 (火) 2019/7/31 (水)	10:00～17:00	生物・電子情報棟3階301室 機器分析評価センター R1 教育研究施設 一般実験室 機器分析評価センター2階212-2室	3000円	8	5
22	環境情報研究院	現役世代社会人	リスクと生きる：環境リスク学入門	横浜国立大学は以前から環境リスクの研究教育に取り組み、リスクゼロを目指すのではなく、いかにリスクと折り合いをつけるかを多くのプロジェクトの中で提案してきました。その中から、「気候変動対策と共有地の悲劇」、「風力発電と鳥への影響」、「知床世界遺産地域のクマと人の共存」、「漁業法改正とクロマグロの資源管理」について最新の研究成果を紹介いたします。	松田 裕之 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授)	2019/8/9 (金)	10:30～17:00	教育学部講義棟8号館 203教室	無料	20	40
23	機器分析評価センター	現役世代社会人	材料解析の基礎講座	本講座は機器分析の経験が浅い実務者を対象として、材料における機能の優劣や劣化の要因を理解するための基礎の習得を目的としています。身近にある材料を題材に、X線や電子線を利用する機器を使用しながら材料解析の手法を学びます。	谷村 誠 (横浜国立大学 機器分析評価センター 准教授) 吉原 直希 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) 近藤 正志 (横浜国立大学 機器分析評価センター 再雇用職員)	2019/9/3 (火)	10:00～17:00	機器分析評価センター	2000円	8	4
24	経営学部	現役世代社会人	平成30年の企業経営と金融を振り返る	「平成」時代の企業経営と金融を、実務経験豊富な本学研究者が振り返り、その実態と要因を分析しつつ新時代への教訓を探ります。第1回「日米のバブルと金融危機」、第2回「企業経営の収斂化と多様化」です。懐かしさ、厳しさ、そして新しさが交錯する時間間へと皆さまを誘います。	高橋 正彦 (横浜国立大学 名誉教授) 柴田 裕通 (横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授)	2019/9/14 (土) 2019/9/21 (土)	15:30～17:30	経営学部1号館2階大会議室	無料	50	88
25	機器分析評価センター	現役世代社会人	実践機器分析基礎講座(A)「成分分析の実際」 ー「分ける」「見つける」「調べる」を一度に実現！ LC/MS (液体クロマトグラフィー質量分析) ー	食品・天然物・工業製品などの機能や効能を決めるのは、含まれる「成分」です。その中でも特別な機能を有するものは、多様な分子構造を持つ「有機化合物」が主要なターゲットになります。本講座では、機器分析による食品類の有機成分分析の実験を通して、その基礎を体験学習します。【詳細は当センターホームページに掲載】	中川 哲也 (横浜国立大学 大学院工学研究院 助教) 石原 晋次 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員)	2019/10/11 (金)	10:00～17:00	機器分析評価センター	2000円	8	5
26	経済学部	現役世代社会人	経済学の「内」と「外」	大企業トップによる会社の「私物化」は経済と倫理の関係を、AIのもたらす産業経済への巨大な影響は経済と技術の関係を、そして米中関係の政治的变化に伴う株値の変動は政治と経済の関係を改めて問うています。本公開講座は、このような、倫理、技術、政治が、経済を「内」的に規定するという面から新たな経済像を展望します。	深貝 保則 (横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授) 土井 植村 (横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授) 日日出 (横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授) 博森 (横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授)	2019/11/7 (木) 2019/11/14 (木) 2019/11/21 (木)	18:00～19:30	経済学部講義棟1号館 102教室	無料	50	117
27	シドニー研究院	現役世代社会人	持続可能な都市を支えるモビリティ	国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の1つである「11. 住み続けられるまちづくり」の達成に資する持続可能な交通システムを実現するため、交通分野のイノベティブな技術やコンセプトを取り上げ、関連分野の最先端で活躍している方とともに、現在および将来の都市におけるあMaaSのあり方についてご紹介いたします。	中村 文彦 (横浜国立大学 都市イノベーション研究院 教授)ほか	2019/4/25 (木) 2019/5/13 (月) 2019/6/12 (水) 2019/7/17 (水) 2019/10/30 (水) 2019/11/18 (木) 2019/12/19 (木) 2020/3/16 (月)	18:00～21:00	学外会場	無料	100 (各回)	740

2019年度 各部局開催の公開講座 参加者アンケートの集計結果(合計)

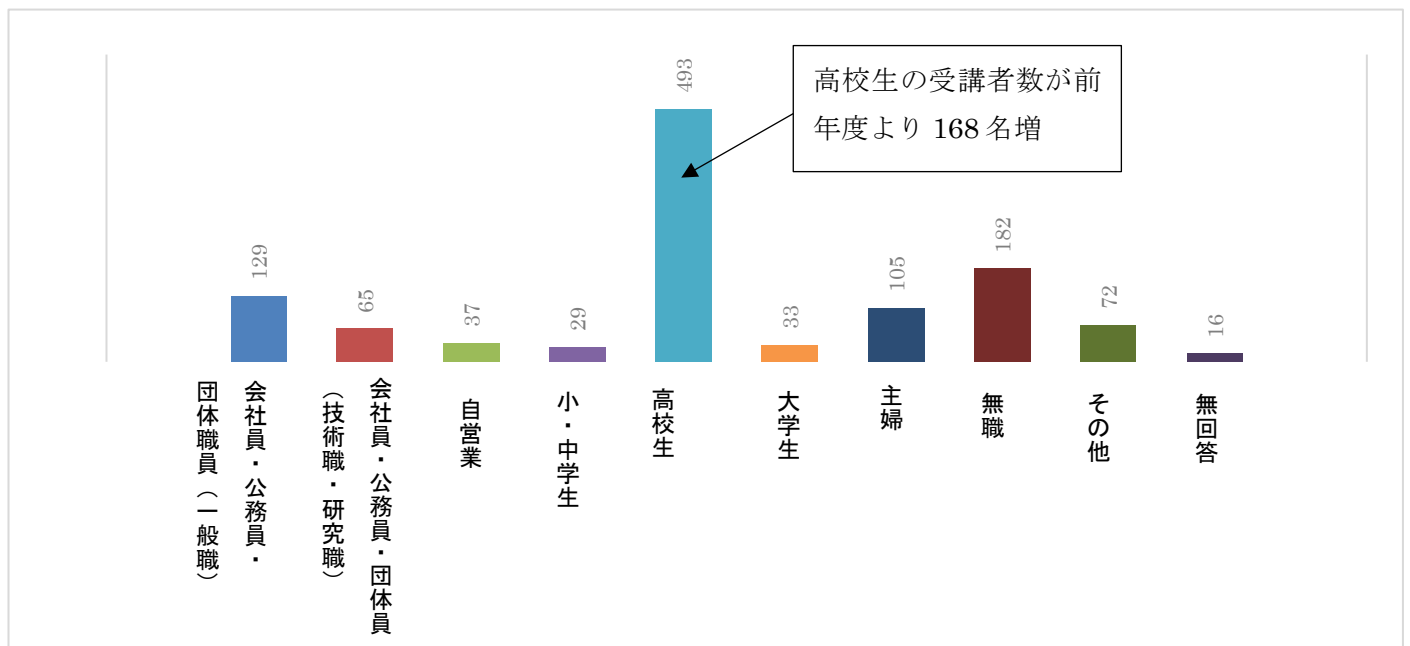
性別



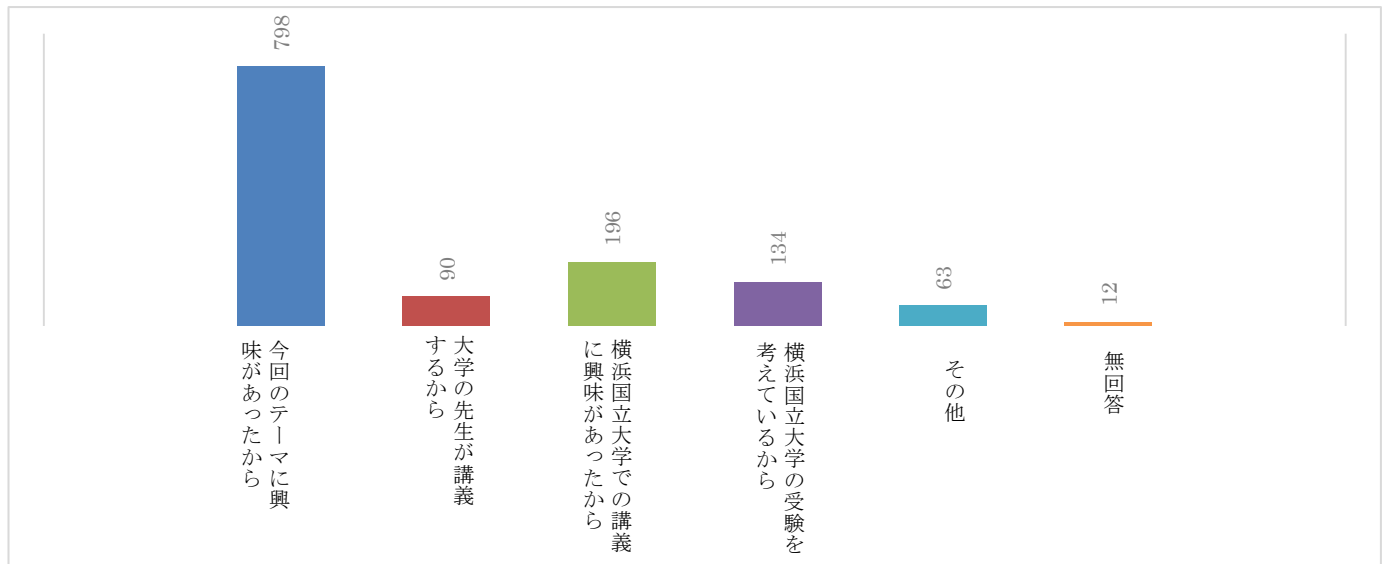
年代



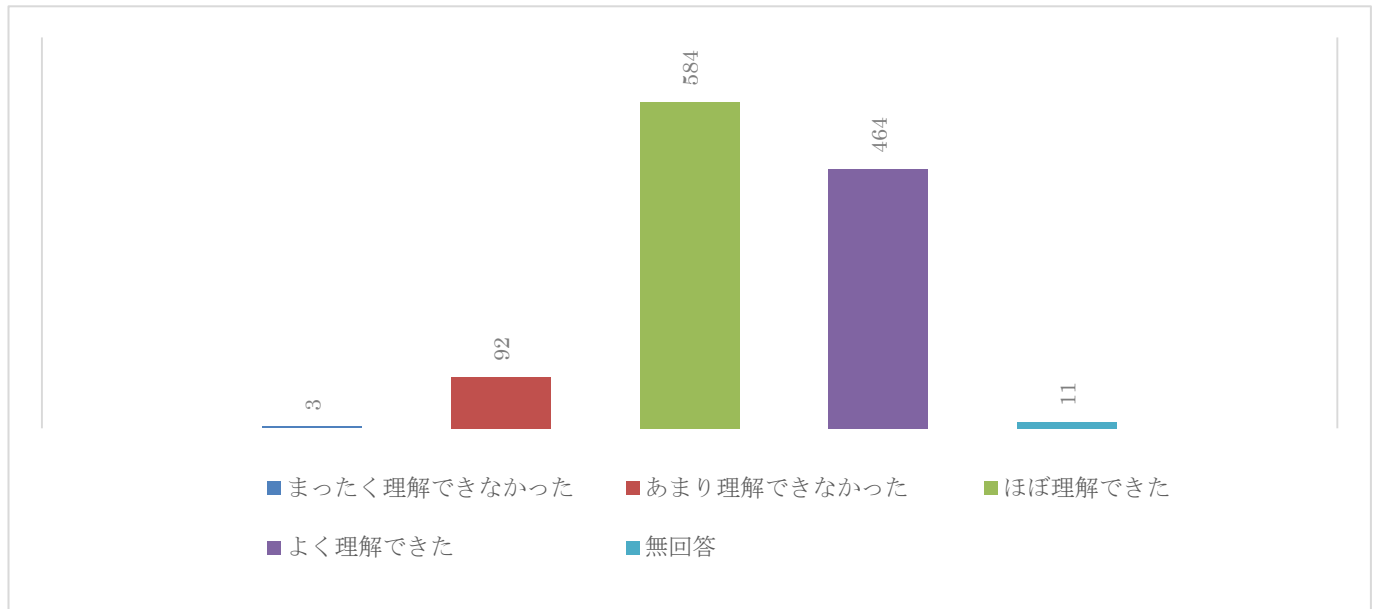
職業別



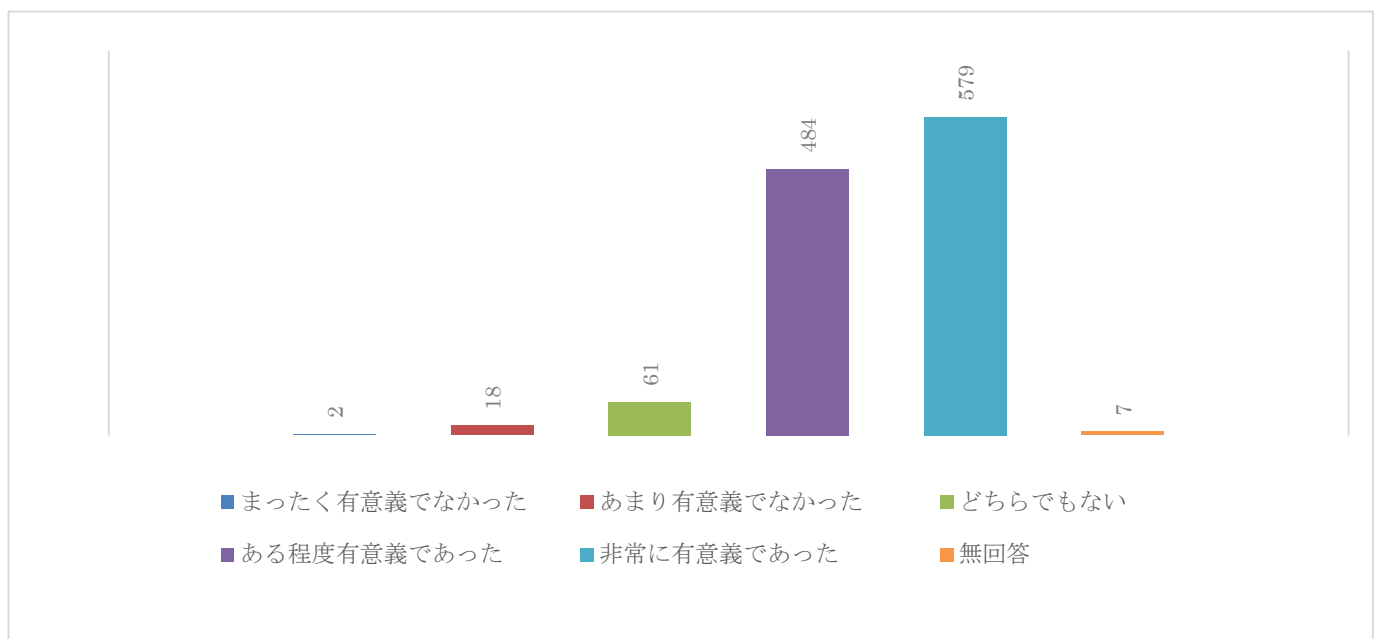
今回の公開講座の受講動機



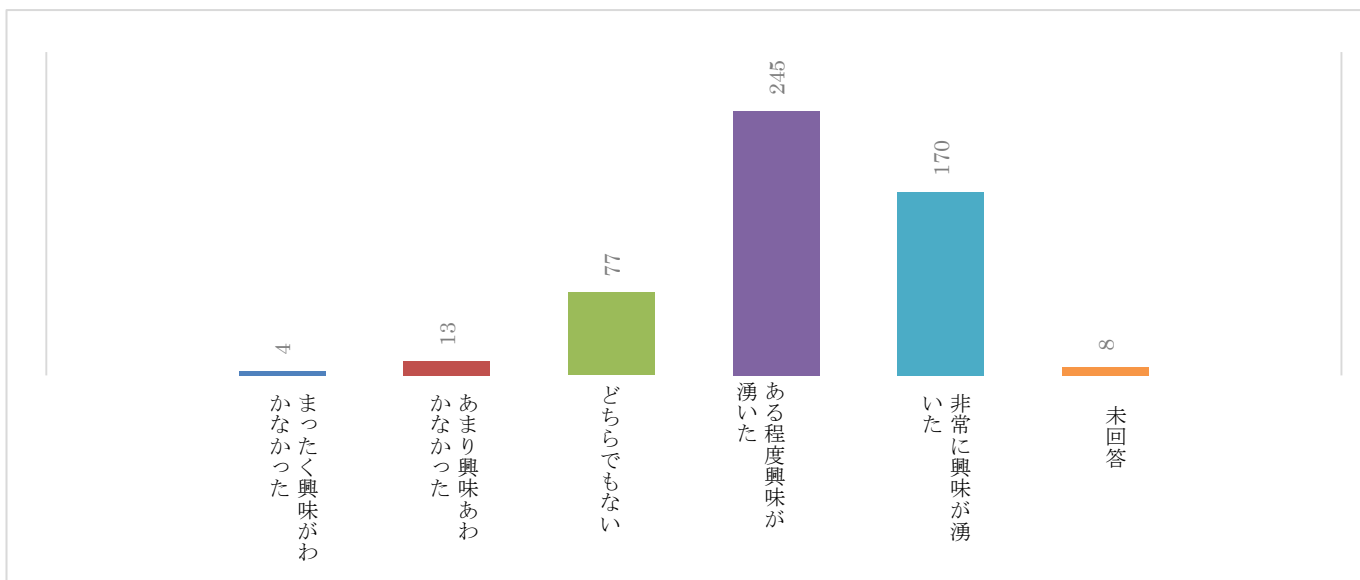
講座内容について理解できたか



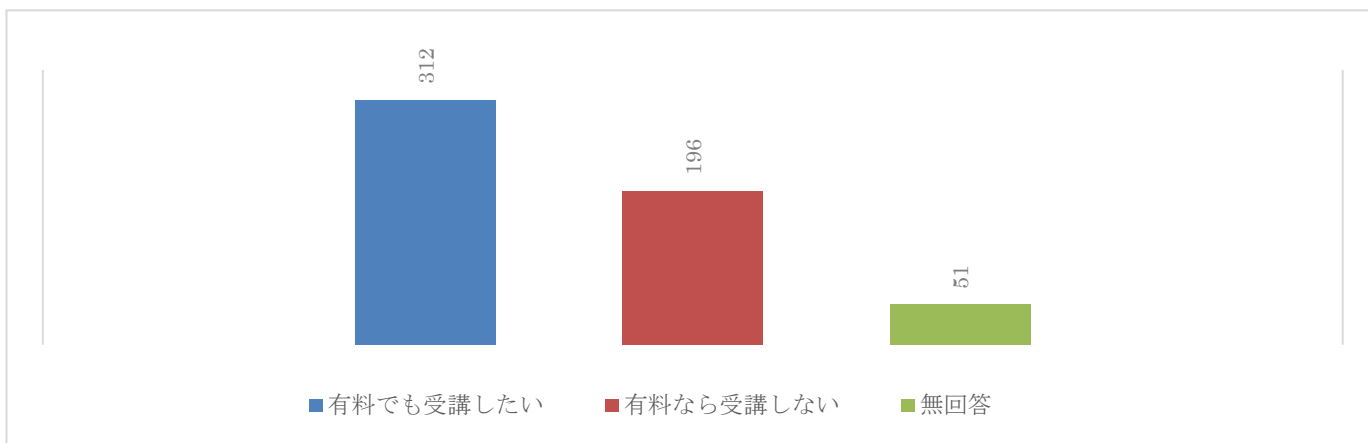
受講して有意義であったと思うか



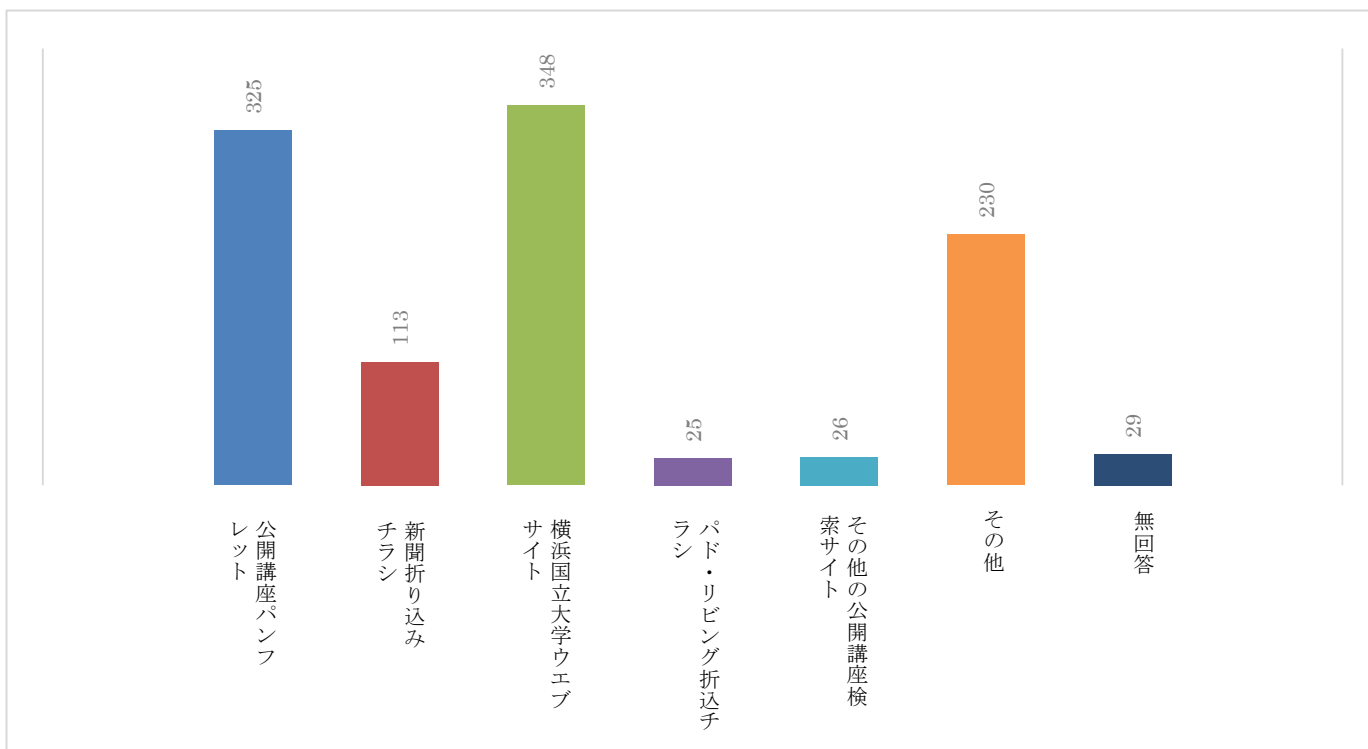
この講座を受講して横浜国立大学への興味が湧きましたか。(高校生)



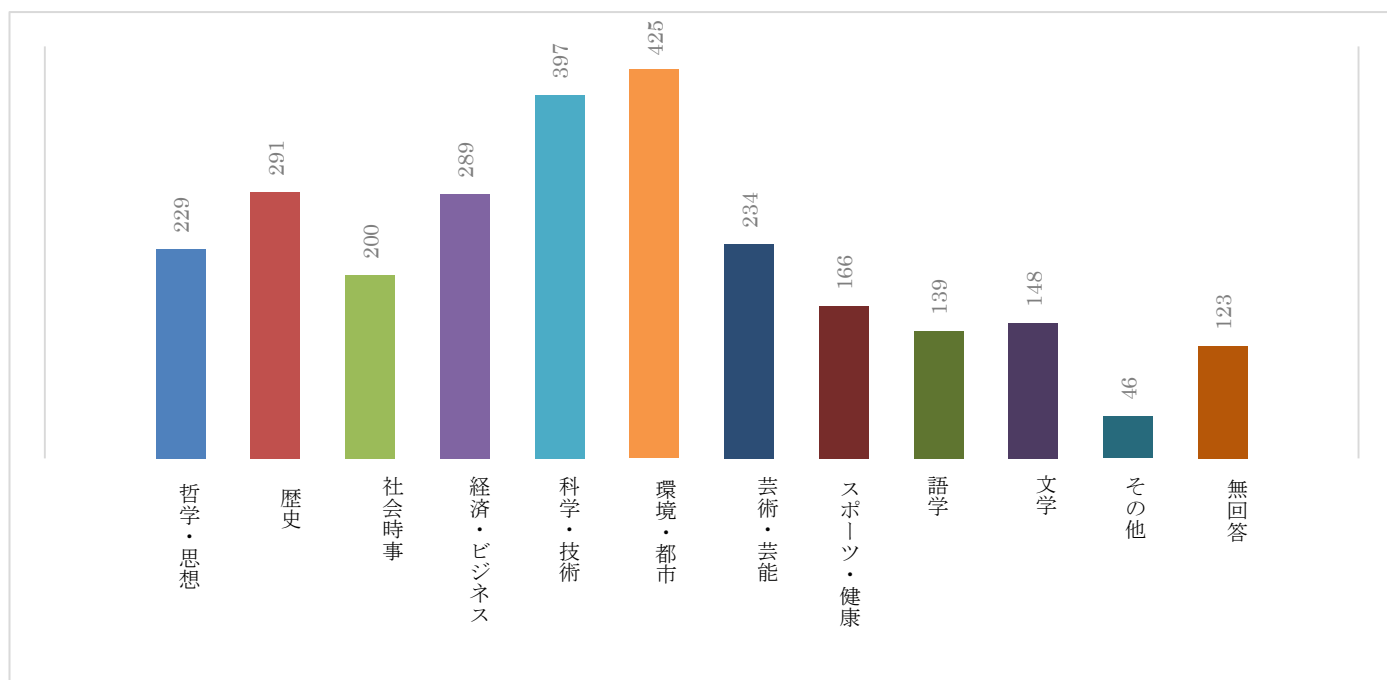
次回この講座が有料の場合、受講されますか。(高校生以外)



公開講座をどこで知りましたか

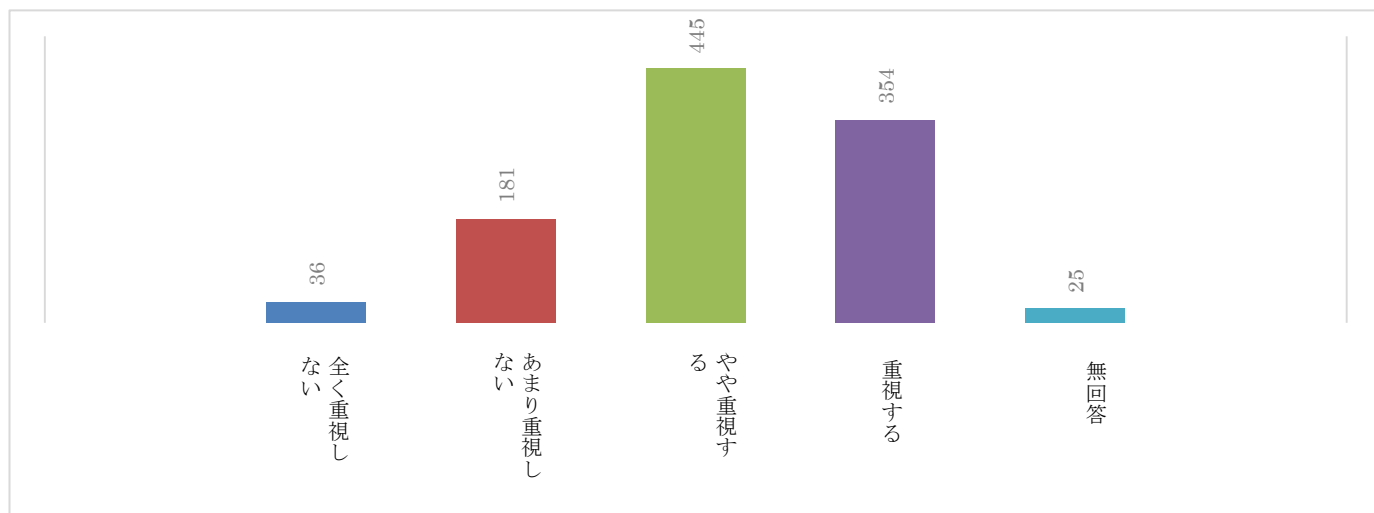


今後、どのような内容の講座を希望されますか。

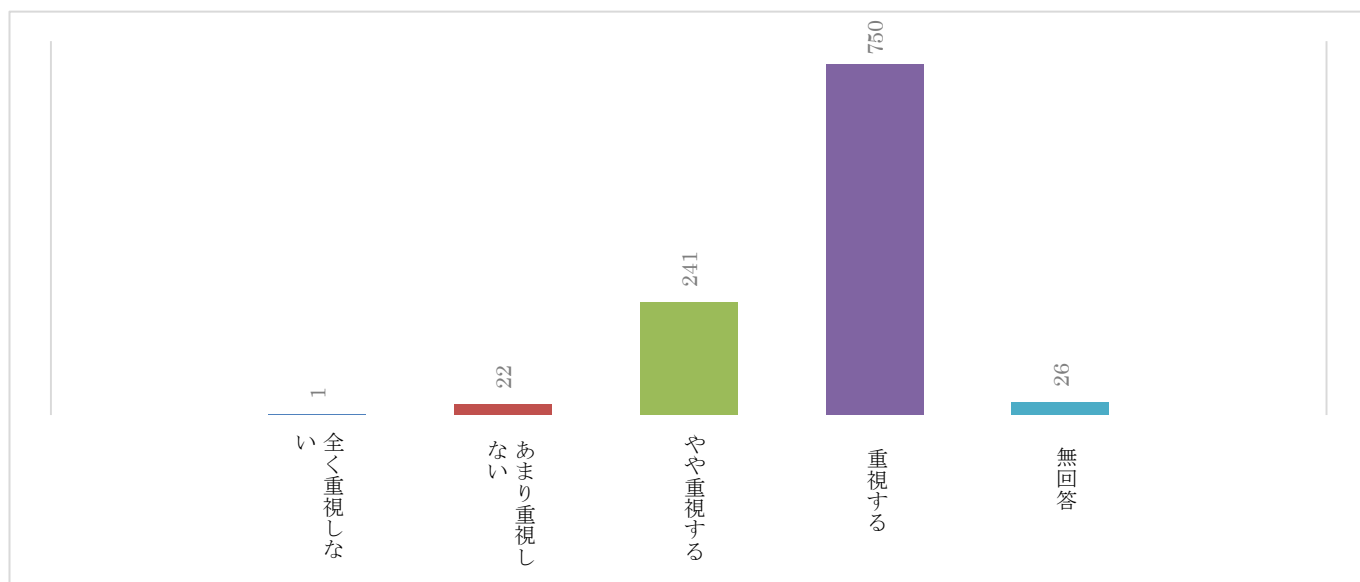


公開講座の受講を決める際に、以下のことをどの程度重視されますか

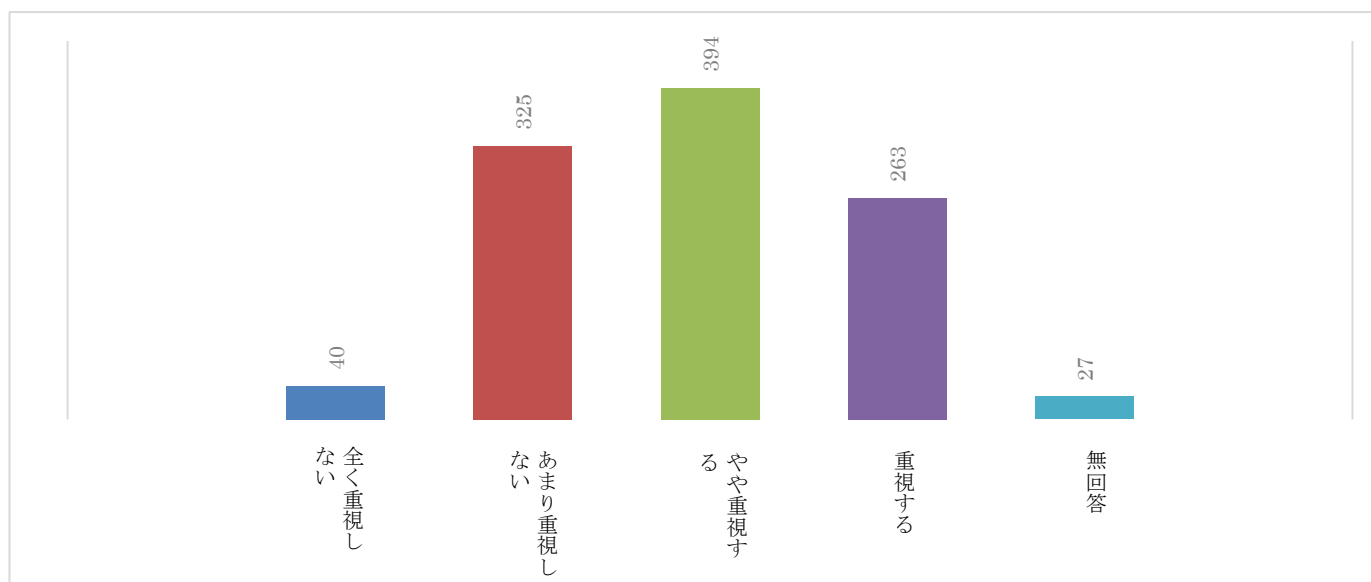
講座名



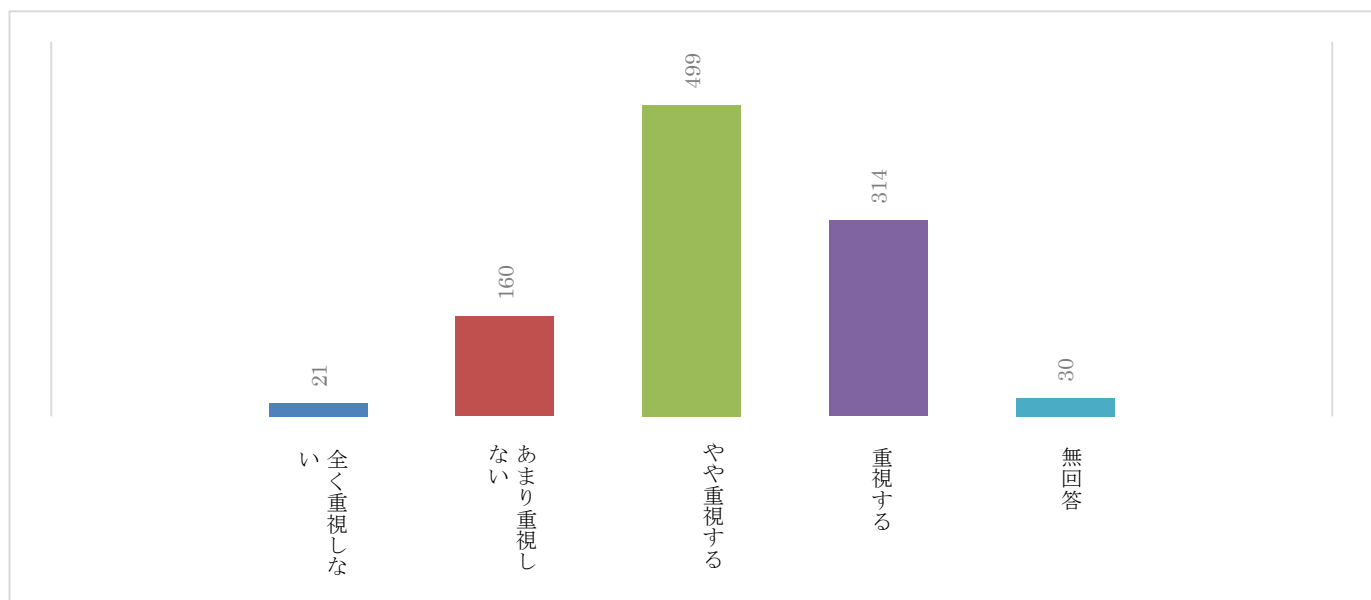
講座内容



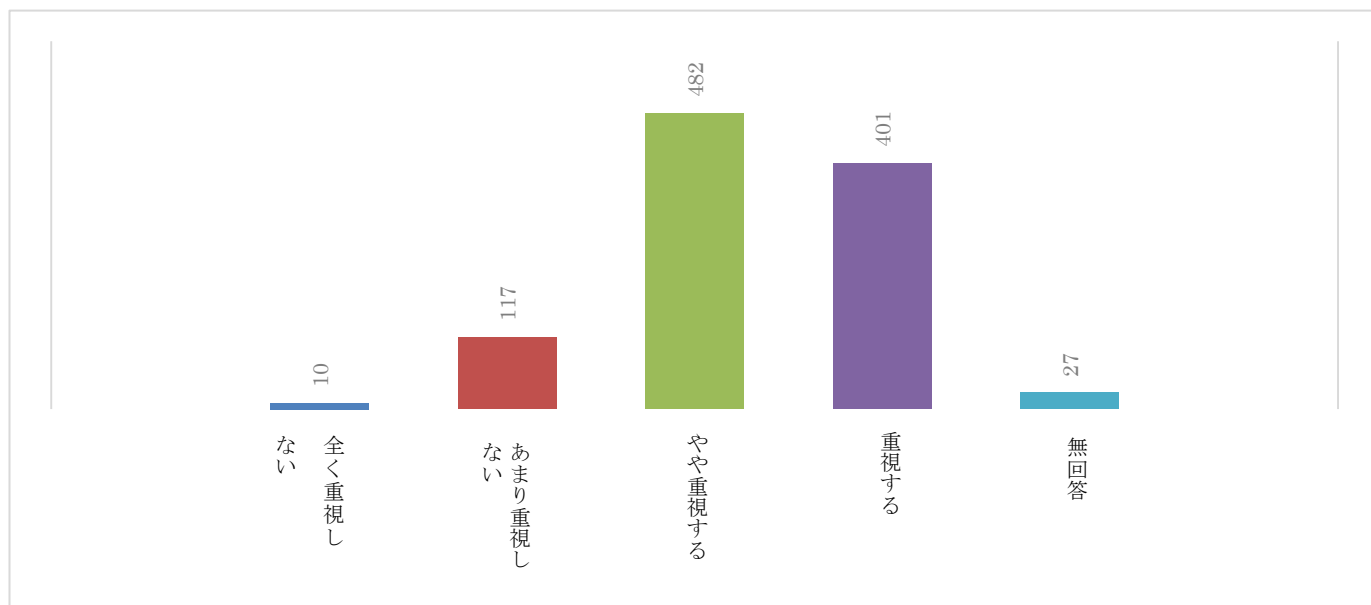
主催期間



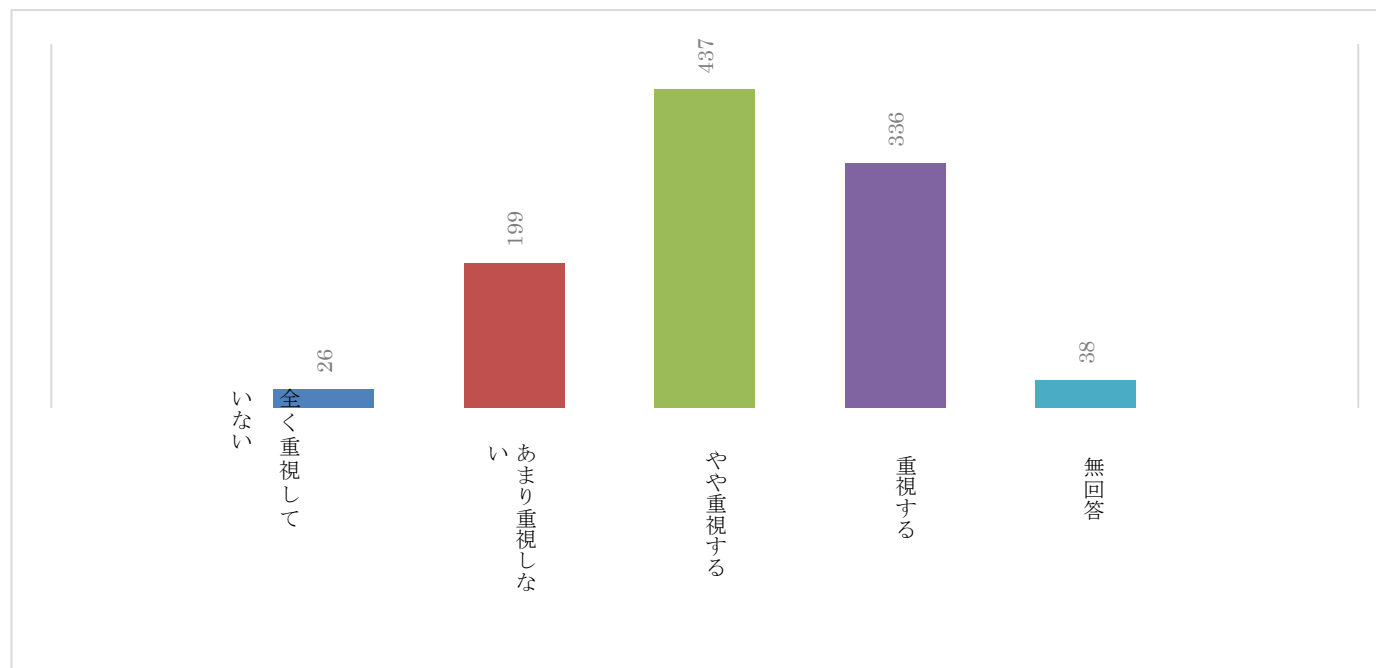
開催場所



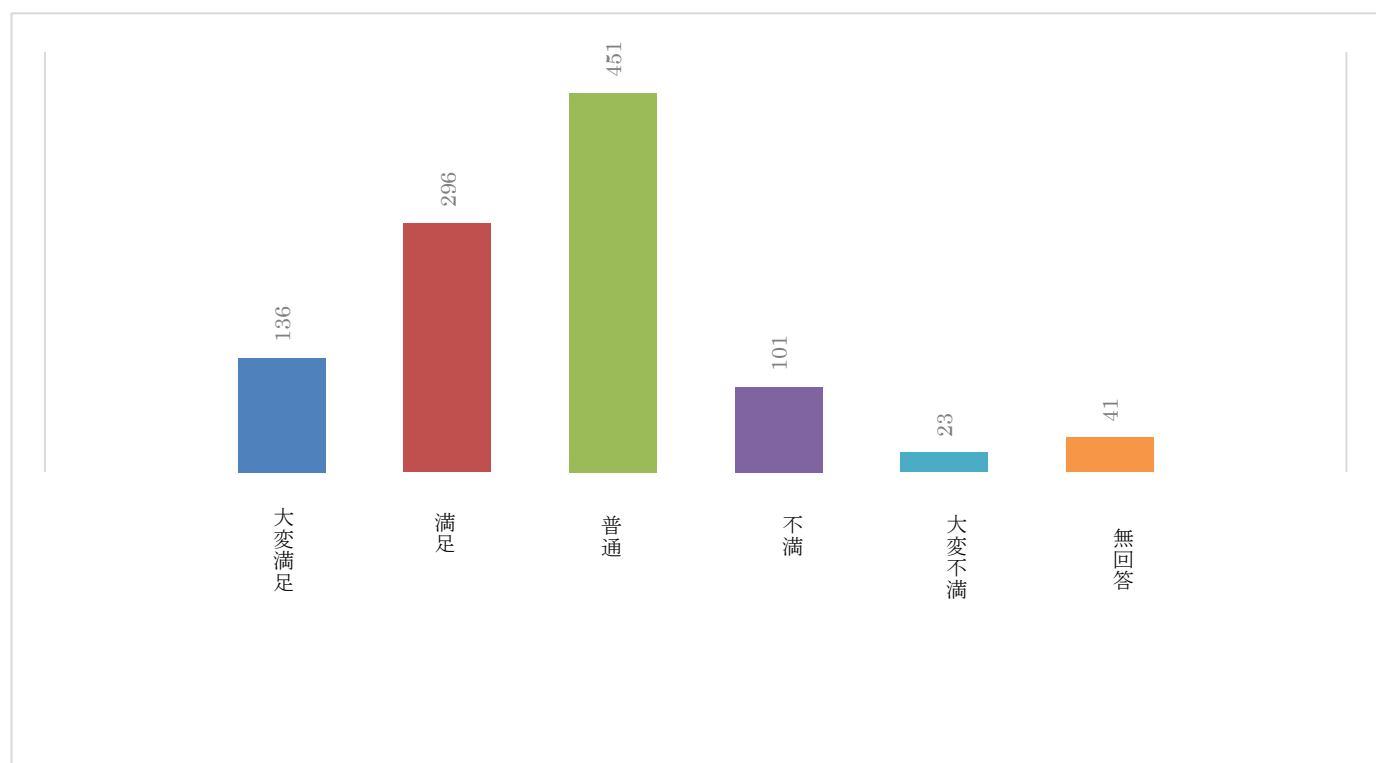
日程・時間帯



受講料



アクセス



公開講座委員会主催

「私たちの生活とSDGs（持続可能な開発目標）」

実施報告

◆総括

本講座は本学と読売新聞横浜支局の共催で、横浜国立大学中央図書館メディアホール・経営学部講義棟2号館109教室において2019年7月26日（金）、8月9日（金）、8月23日（金）の3日間、計6回開催されました。

本年度のテーマは「私たちの生活とSDGs（持続可能な生活目標）」であり、SDGsと私たちの生活との関連について、専門家がわかりやすく解説する講義でした。昨年度に引き続き「高校生向け」として企画・開催し、中学・高校生108名を含む171名の申し込みがありました。

実際の受講者は平均93名でした。そのうち4回以上出席の方は申込者の約43%の73名であり、その受講者に修了証が授与されました。

アンケート結果を見ると受講の動機の57%は「私たちの生活とSDGs（持続可能な生活目標）」というテーマへの興味でした。全体で91%の受講生が「よく理解できた」あるいは「ほぼ理解できた」と回答しており、89%の受講生が「非常に有意義であった」もしくは「ある程度有意義であった」と回答しており、今回の講座に対して高い評価が得られたものと考えます。また、高校生の80%が本学へ「非常に興味が湧いた」もしくは「ある程度興味が湧いた」と回答しており、高校生向けの講座として、ある程度の成果があったものと考えます。

本年度の全学公開講座の実施にあたって、6人の講師の先生はもちろんのこと、熱心に受講された方々、告知や記事掲載をしていただいた支局長をはじめ読売新聞横浜支局の方、講座の実施に心から尽力いただいた事務局の皆様へ深く感謝いたします。

◆申込者数 171名

◆申込者の年代

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	総計
人数(名)	110	8	3	14	9	13	14	0	171

◆受講者数

開催日	講師	受講者数(名)
7月26日	教育学部 松葉口 玲子 教授	91
7月26日	大学院都市イノベーション研究院 江原 由美子 教授	91
8月9日	早稲田大学社会科学部 大塚 彩美 講師	92
8月9日	大学院環境情報研究院 松本 真哉 教授	92
8月23日	大学院環境情報研究院 鳴海 大典 教授	96
8月23日	教育学部 筆保 弘徳 准教授	96

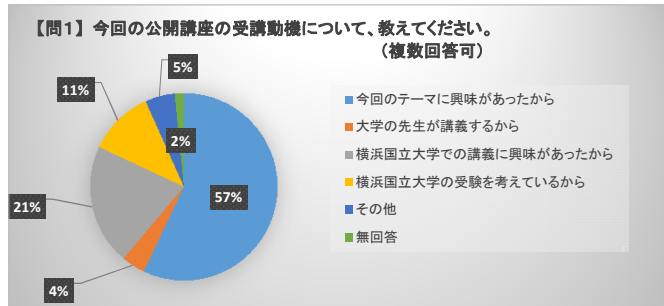
◆修了証授与数 73名

全6回中、全4回出席した者に修了証書を授与

令和元年度 公開講座委員会主催主催 公開講座アンケート結果

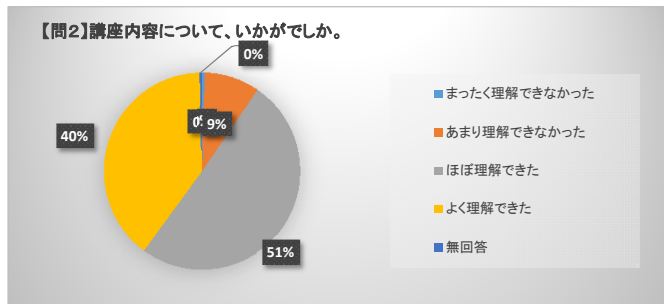
【問1】今回の公開講座の受講動機について、教えてください。
(複数回答可)

今回のテーマに興味があったから	323
大学の先生が講義するから	23
横浜国立大学での講義に興味があった	118
横浜国立大学の受験を考えているから	64
その他	29
無回答	9



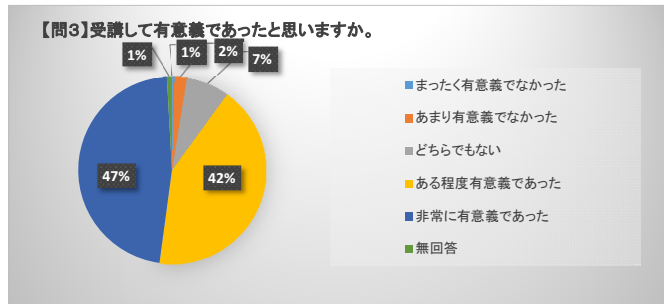
【問2】講座内容について、いかがでしたか。

まったく理解できなかった	2
あまり理解できなかった	43
ほぼ理解できた	238
よく理解できた	186
無回答	2



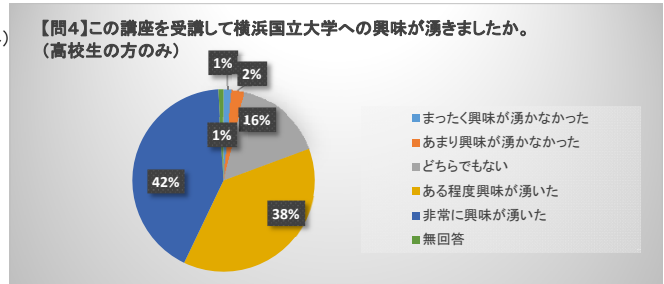
【問3】受講して有意義であったと思いますか。

まったく有意義でなかった	2
あまり有意義でなかった	10
どちらでもない	35
ある程度有意義であった	199
非常に有意義であった	222
無回答	4



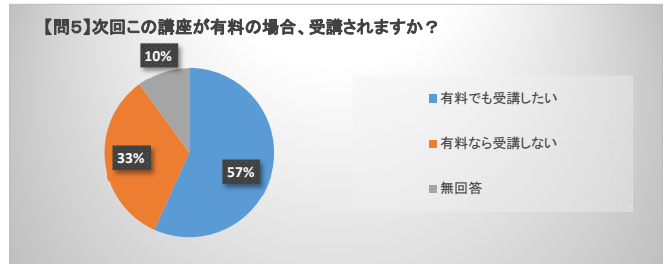
【問4】この講座を受講して横浜国立大学への興味が湧きましたか。
(高校生の方のみ)

まったく興味が湧かなかった	3
あまり興味が湧かなかった	5
どちらでもない	34
ある程度興味が湧いた	82
非常に興味が湧いた	91
無回答	2



【問5】次回この講座が有料の場合、受講されますか。

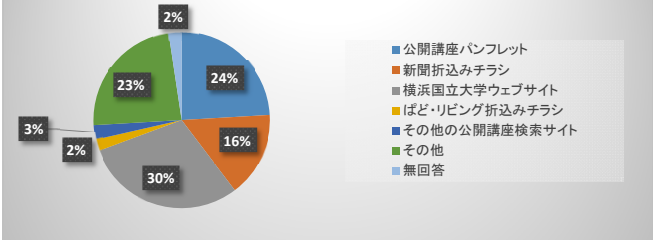
有料でも受講したい	113
有料なら受講しない	66
無回答	20



【問6】公開講座をどこで知りましたか。(複数回答可)

公開講座パンフレット	91
新聞折込みチラシ	59
横浜国立大学ウェブサイト	112
ぼど・リビング折込みチラシ	8
その他の公開講座検索サイト	10
その他	89
無回答	9

【問6】公開講座をどこで知りましたか。(複数回答可)

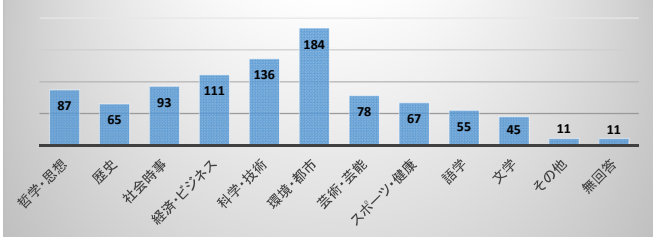


(問7以下は、初回の受講者のみ記入)

【問7】今後、どのような内容の講座を希望されますか。(複数回答可)

哲学・思想	87
歴史	65
社会時事	93
経済・ビジネス	111
科学・技術	136
環境・都市	184
芸術・芸能	78
スポーツ・健康	67
語学	55
文学	45
その他	11
無回答	11

【問7】今後、どのような内容の講座を希望されますか。(複数回答可)



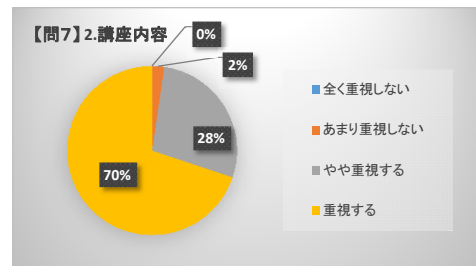
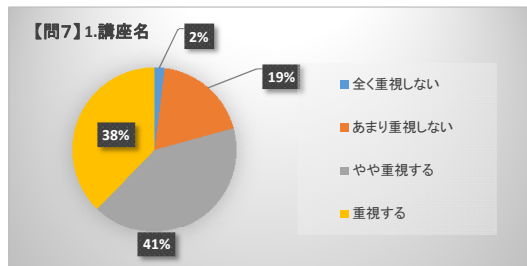
【問8】公開講座の受講を決める際に、以下のことをどの程度重視されますか。

1. 講座名

全く重視しない	7
あまり重視しない	65
やや重視する	144
重視する	131

2. 講座内容

全く重視しない	0
あまり重視しない	8
やや重視する	96
重視する	241

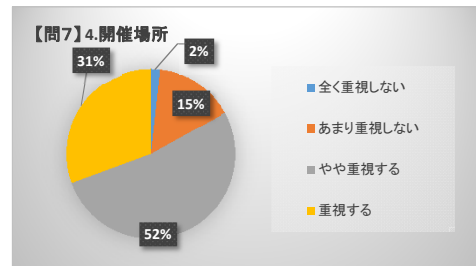
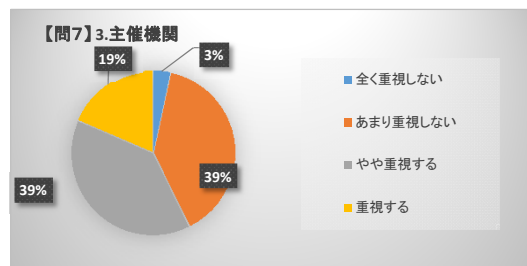


3. 主催機関

全く重視しない	12
あまり重視しない	140
やや重視する	138
重視する	66

4. 開催場所

全く重視しない	6
あまり重視しない	52
やや重視する	180
重視する	105

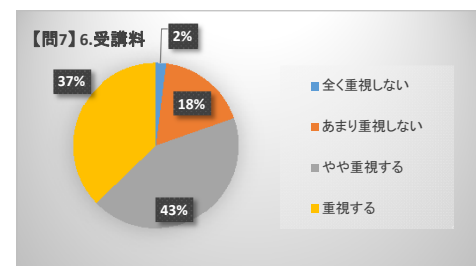
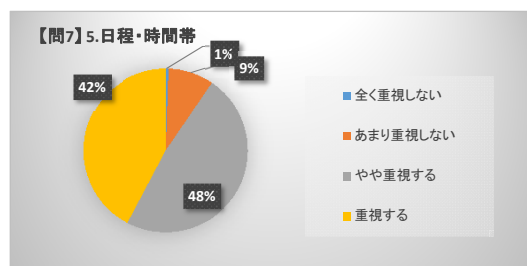


5. 日程・時間帯

全く重視しない	2
あまり重視しない	32
やや重視する	172
重視する	151

6. 受講料

全く重視しない	7
あまり重視しない	62
やや重視する	152
重視する	131



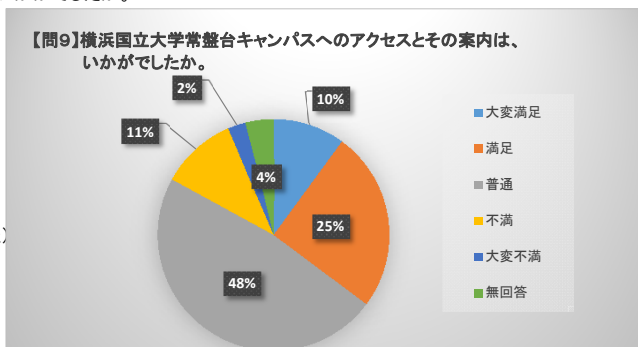
【問9】横浜国立大学常盤台キャンパスへのアクセスとその案内は、いかがでしたか。

また、その理由についてお聞かせください。

大変満足	36
満足	90
普通	171
不満	38
大変不満	9
無回答	14

(不満・大変不満の理由)

和田町からの案内がわかりにくかった
横浜からのバスの本数が少ない
バスの所要時間を書いてほしい(外回りはすごく時間がかかりました)
少し距離がある、駅から遠い
バスをおりてからの案内図がわかりにくい。
守衛室に本日の講座場所が連絡されていなかった。
国大行きだけでも時刻表を載せてほしい
道案内の道標ひとつない。ずさんさ。信じられない。



【問10】 その他ご意見、ご要望がありましたらお聞かせ下さい。(多数のご意見から一部を抜粋しました。)

第1回目 (講師:教育学部 松葉口玲子 教授) すべてにつながるエシカル消費で世界を変える

SDGsのために自分ができることがささいでもあるのだと思った。小さなことから1—17の項目のことについて取り組みたいと思う。

SDGsを「自分ごと」とすることの参考になりました。

どうしてもフェアトレードのものは価格が高く手が出しにくい印象があるのですが、その認識を変えることはできるでしょうか。

第2回目 (講師:都市イノベーション研究院 江原由美子 教授) ジェンダー平等と横浜国大の取り組み

日本が世界の中で女性の地位や立場がかなり低いことを学びました。少しずつでも取り組まなければならないと思います。

SDGsがジェンダー平等が色々な項目に関わりがあることがわかった。

ジェンダーの差別の女性学を男性が研究すればより説得力が上がるのではないかと、思いました。

第3回目 (講師:早稲田大学 社会科学部 大塚彩美 講師) 家から考える持続可能なライフスタイル

飲水思源という熟語 子ども達と話してみたくりました。又、社会的想像力(小学生・中学生)このような人になるべく努力を今日から始めます。

前回に続き、有意義な時間を持てた事、感謝致します。

テレビなどのニュースやこのような講座での話でしか考えないと思います。大切なのは自分の力で考えて行動することなので、自分でももう少し頑張りたいです。ありがとうございました。

私は今、文系か理系かで迷っています。今回は、将来医療建築士の夢の参考になるかなと考えて来ました。SDGsは今年の4月に存在を知って、色々調べるうちに色々みえてきました。飲水思源の考えをこれから大切にしていきたいです。

第4回目 (講師:環境情報研究院 松本真哉 教授) スマホと環境問題-ライフサイクルの視点で生活を見直そう-

「使う責任」響きました。ついこの前の選挙で、若者の投票率が上がれば、候補者の主張も変わるとききました。似ていると思いました。使う責任が高まれば、提供する企業の質も上がるのですね。

いろいろ考えさせられました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

一方的に話を聞くのではなく、聴講者参加のスタイルが面白かった。

第5回目 (講師:環境情報研究院 鳴海大典 教授) 環境・エネルギー問題とリスク共生

中学校から生徒会役員6名を連れて、受講させていただきました。SDGsの理念のもとお話を聞くことができ、生徒たちにとっても大変勉強になりました。ありがとうございました。

講義前、いただいた資料を見て、とても難しそうでついていけないか不安になりましたが、先生のお話を聞きながら読むと、資料の示していることが大変よく理解できました。

とても有意義な時間を過ごすことができました。質問ができてよかったです。

第6回目 (講師:教育学部 筆保弘徳 准教授) 君は台風列島で生き延びることができるか?

とても面白い講座でした。リアルタイムで台風の状況が分かるって本当に便利だと思います。100年前の台風の被害の大きさを現代に持ってきて、今起きたらどうなるのか、という予想ができるのは、本当に素晴らしいと思います。ありがとうございました。

古文書を使ったリスパコンを使ったり、気象の研究は奥が深いと思いました。"ノモグラム"作成プロセスのお話が興味深かったです。

研究を熱意をもって続けていくことは、本当に素晴らしいことですね!せっかくの研究成果のOmap、台風ソラグラム使わせていただきます。